

—美しく変化に富んだ音色と強烈なテクニックを備える。

今後間違いなく世界に羽ばたいていくであろう。(ガーディアン紙/英)

—スラッと背が高く、イッサーリスのような髪型で現れたその若者。

骨太の音、魂のこもったレガート、強靱なピツィカート。これぞ本物の才能。

(Bachtrack/英)

ゲルギエフ、スピヴァコフ、フェドセーエフら巨匠指揮者たち マリインスキー劇場管、モスクワ・フィル、パリ管などと共演



アレクサンドル・ラム Alexander Ramm, Cello

1988年ウラジオストク生まれ。幼少から才能を発揮し、9歳でオーケストラと共演。モスクワのチャイコフスキー音楽院を経てベルリンのハンス・アイスラー音楽院に留学して研鑽を積んだ。コンクール歴も華やかで、2005年ケンブリッジ国際コンクール優勝、2010年北京国際コンクールグランプリ、2013年ヘルシンキでのパウロ国際コンクール第3位を獲得。また2015年にはチャイコフスキー国際コンクールで準優勝を果たし、世界的なチェリストの仲間入りを果たした。以来、モスクワ・フィルハーモニー交響楽団、スヴェトラノフ記念ロシア国立交響楽団、マリインスキー歌劇場管弦楽団、パリ管弦楽団等一流のオーケストラにソリストとして招かれ、これまでにユロフスキー、スピヴァコフ、ゲルギエフ、スラトコフスキー、ポリャンスキー等一流の指揮者の信頼を得て各国のツアーに参加。特にマリインスキー歌劇場管弦楽団のロンドン公演では大成功を収めて即再演の声がかかるなど名声を得た。



ガブリエーレ・カルカノ Gabriele Carcano, Piano

1985年トリノ生まれ。トリノのジュゼッペ・ヴェルディ音楽院卒後、パリでアルド・チッコリーニに師事。引き続きパリ国立高等音楽院へ進学し、ニコラ・アンゲリッシュに学んだほか、レオン・フライシャー、リチャード・ガード、内田光子等名ピアニストと研鑽を積む。現在、パリ、ミラノ、ベルリン、ミュンヘン、チューリッヒ、香港等世界各地でリサイタル、オーケストラ共演を行っており、2010年、内田光子からマールボロ音楽祭へ招聘されたのを期に、12年より13年までボストン、ニューヨーク等の同音楽祭全米ツアーへ参加した。豊かな感受性を持つ若手ピアニストのホープ。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック


宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業